

平成27年度防府市商工業振興施策に関する要望

【件名と回答】

1. 中小企業・小規模事業者の経営安定化対策について

(1) 防府市中小企業振興資金融資制度の新規開業資金の拡充について

防府市中小企業振興資金融資制度については、これまでも中小企業者・小規模事業者の経営安定化を図るため、貴所と協議の上、制度の拡充を行ってまいりました。また、今年度から防府市創業支援事業計画に基づき貴所をはじめとした創業支援事業者と連携し、創業者への支援を推進しているところです。本市融資制度の拡充及び保証料補給については、近隣他市の融資制度の状況や市内の景気動向を十分に考慮した上で、拡充する方向で検討してまいります。

(2) 効果的な地域経済循環のためのリフォーム助成事業実施について

平成26年度の「住宅リフォーム助成事業」については、6月下旬には申請金額が予算額に達し募集締め切りとなっており、昨年度に引続き760件を超える申請がありました。工事金額も7億円に上り、助成金と合せると7億5千万円もの経済的波及効果に繋がっていますので、このリフォーム助成事業は消費税増税に伴う経済対策として有効であると考えております。

過去4年間の事業内容及び成果を十分に検証した上で、次年度も継続する方向で貴所と協議してまいります。

(3) 賑わいのある中心市街地づくりのための店舗リフォーム助成事業について

店舗リフォーム助成金の創設については、高崎市などの先進地の助成制度を十分に研究した上で、本市も導入できるかどうかについて検討してまいります。

2. 地域経済に確かな成長をもたらすための取り組みについて

(1) 官民が連携した「防府のグランドデザイン」策定のための産業戦略委員会立ち上げについて

山口県においては、平成25年4月に「産業力・観光力の増強」に向けた山口県産業戦略本部を設置されております。

防府地域においても、世界的な景気の低迷や為替の変動など数々の難局に直面している中で、中長期的な視点で本市の向かうべき方向性や産業振興及び、中心市街地のあり方を検討していく必要があると認識しております。そうした中、貴所が平成25年11月に「住みたくなるまち・魅力あるまち」は「企業が元気に活動できるまち」として『産業活性化委員会』『中心市街地活性化委員

会』『みなと活性化委員会』の特別委員会を立ち上げ、鋭意活動されていることに敬意を表します。

また、市では「第四次防府市総合計画」基本計画の見直しにあたり、市長をトップに課長級以上を委員とする庁内組織を設置し協議中です。

今後、貴所が立ち上げ予定である「防府のグランドデザイン」策定のための産業戦略委員会に市の関係部局の職員も参加させていただき、官民が連携した協議を行ってまいります。

(2) 中心市街地活性化協議会の立ち上げと中心市街地活性化基本計画の策定について

中心市街地活性化協議会の立ち上げと中心市街地活性化基本計画の策定については、未だ庁内においても中心市街地についての協議も十分していない現状であるため、まずは、貴所と市の関係部局とで中心市街地のあるべき姿について協議を重ね、その中で協議会等の立ち上げについても検討してまいります。

(3) 中関港の機能強化のためのガントリークレーンの増設及びコンテナヤードの拡張整備について

市は、これまでタイヤマウントクレーンの増設を国、県に要望してきましたが、今後は、ガントリークレーンの増設を要望してまいります。また、既存のガントリークレーンの長寿命化も要望してまいります。

また、昨年度臨港道路の付け替えが完了し、コンテナヤード内の道路の再配置が可能になりましたので、今年度より県が、港湾事業者等のニーズを参考にしたコンテナヤードの整備事業に着手されたところです。

市としても、事業の早期完成を引続き要望してまいります。

(4) 医療関係産業クラスターの実現について

ご案内のとおり、県は平成25年7月に「やまぐち産業戦略推進計画」を策定され、その中で「医療関連産業」の集積を目指すとされたところです。同年10月には、企業、大学、医療機関、産業支援機関等が連携したネットワークを形成するため「やまぐち医療関連成長戦略推進協議会」が立ち上げられました。本市も従来から立地する自動車関連産業にのみ大きく依存するのではなく、新たな産業も活用して地域の活性化を目指すべきとの考えから、これに参加することといたしました。

高齢化が驚異的な速さで進む我が国において、医療関連産業は将来の成長が見込める数少ない分野の一つであり、高度なものづくりの技術を持っている本市の中小企業にとって、そこへ参入することは、新たな段階に進む良い機会になると考えております。要望にありますように、地元中小企業が医療関連分野

の様々な主体と交流し連携することは、長期的に見て本市の大きな優位性に繋がりますので、今後「やまぐち医療関連成長戦略推進協議会」を組織する各会員と本市の中小企業との連携等について、大いに配慮してまいります。

3. 地域強靱化に向けた取り組みについて

(1) 三田尻港を中心とした防災拠点づくりについて

現在整備中の三田尻港耐震岸壁背後の県緑地は、三田尻中関港港湾計画の中でも、防災緑地に指定されており、災害時に物資集積・配送の拠点となるよう、県に整備を要望してまいります。

三田尻大橋につきましても、長寿命化も視野にいたした耐震補強を県に要望してまいります。

また平常時には、県緑地と潮彩市場が連携し「にぎわい空間づくり」を実現するために、市民の声を聞き、市と県で協議しながら整備方針を検討してまいります。

(2) 中関港3号岸壁の耐震化工事の早期着工について

中関港は、防府市の重要産業である自動車産業の完成自動車の積出港として、県央部の経済を支える産業拠点港湾です。市として、引き続き中関3号岸壁の延伸と耐震化について、国、県に強く要望してまいります。

(3) 市内15分、広域30分構想に向けた取り組みについて

① 大道、佐野間の4車線化について

防府市内の国道2号4車線化は、富海地区において本年度より工事に着手されております。今後も、広域幹線道路としての国道2号早期完成に向けて、引き続き国へ要望してまいります。

② 都市計画道路環状1号線の防府バイパス接続の早期完工について

都市計画道路環状1号線の旧国道2号から防府バイパスまでの区間につきましては、用地買収と一部工事が進められており、本年度も引き続き事業進捗が図られております。市といたしましても、本区間の完成は、三田尻中関港への物流アクセスの向上と牟礼地区の交通渋滞緩和に大きく寄与するものと考え、早期完成に向けて、引き続き山口県へ要望してまいります。

③ 県央部都市間アクセス向上のための広域道路整備について

本市と山口市を結ぶ国道262号を補完する路線としては、一般県道大内右田線がありますが、その整備は玉泉湖手前で止まっています。災害時に国道26

2号の代替路線となる本路線につきましても、早期に整備されるよう山口県に要望してまいります。

④ 都市計画道路環状1号線と開出塚原線の接続について

中関臨海部周辺の工場地帯から山口県立総合医療センターを最短で結ぶ都市計画道路環状1号線から開出塚原線への接続につきましては、整備延長も長く多額の事業費が必要であることから、完成までに相当の年月を要するものと思われまます。

そのため、関係機関と調整を図りながら代替路線の整備を促進するとともに、本区間の事業化について検討を進めております。

4. 夢のある地域実現に向けた取り組みについて

(1) 大河ドラマ「花燃ゆ」を活用した「幸せます」なまちづくりについて

NHK大河ドラマ「花燃ゆ」放映に伴い、多くの観光客が来防されることとなりますが、さらなる誘客や周遊効果を高めるため、現在、防府市観光協会において防府市観光バスツアー支援事業助成金を実施されているところです。

平成27年度におきましても継続実施したいと考えておりますので、助成制度の内容や予算規模について精査し、今後の反響を見極めた上で予算に反映させたいと考えております。

(2) 県立大学工学部・薬学部の新設について

本市では、人もまちも元気あふれる地域社会の創造と相互の発展に貢献することを目的として、平成24年3月に山口県立大学と連携協力に関する包括協定を締結し、平成24年度から調査研究等の連携事業に取り組んでおります。

平成24年4月には、県央部の工業振興を支える人材育成を図るため、「山口県立防府商工高等学校」が設置されたところですが、今後は、県内屈指の工業地帯として発展してきたこの防府の地に専門性の高い県立大学工学部を新設し、産学公連携による本市産業の更なる振興を図っていくことが重要であると考えております。

また、県内初の薬学部を県立大学に新設し、防府に誘致することにつきましては、地域医療・福祉の向上や人口定住の促進にもつながる本市の発展に重要なことであると考えております。

つきましては、平成27年度予算の編成及び施策の決定にあたり、県に対しまして県立大学工学部及び薬学部の新設、本市への誘致につきましても要望してまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(3) まちづくり防府への支援について

中心市街地活性化及び商業等の活性化を推進する「まちづくり防府」の運営及び関連事業について、引き続き支援してまいります。

(4) 「幸せますフェスタ」への支援について

まちづくり防府が中心となり、市内中心商店街と主要観光施設、教育機関や関係諸団体等が連携して開催している「幸せますウィーク」、「防府おどり」、「愛情フリーマーケット」、「B級グルメイベント」など多彩なイベントにより、市内は多くの人出で賑わいました。

来年度からは、年間を通した「幸せますフェスタ」の開催により、各イベントが魅力ある防府のイベントとして生まれ変わり、賑わいの創出が図られるものと期待しており、中心市街地の活性化と交流人口の増加を図るため、現行の賑わい創出イベント事業補助金の枠組みの中で検討してまいります。

(5) 「ほうふ昭和館」運営の継続支援について

天神町銀座商店街内の空き店舗を活用した「ほうふ昭和館」は、平成22年4月開設以来、年間1万人を超える方が来館され、市内主要観光エリアと商店街を結ぶ観光回遊施設としても重要な施設となっておりますので、引き続き支援してまいります。

5. 平成27年度市助成金交付申請について

貴所には、市政各般にわたり格別な御支援・御協力をいただき厚くお礼申し上げます。行財政改革の折り、財政状況は非常に厳しいものがあり、市助成金については前年度と同様に考えております。